



# 大原中学校だより

【大原中学校の教育目標】  
「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」



令和4年5月12日  
第3号  
校長 柴田美由紀

## 交通安全教室 ～ルール・マナーを守って自他の命を大切に！～

4月27日に小郡自動車学校をお借りして、1年生を対象にした交通安全教室を開催しました。2時間の交通安全教室では、講話と実技の内容でした。講話では、小郡警察署の方が来られて、DVDを視聴して、自転車のルール、「ながら運転」などの危険運転によって自転車に乗る側が加害者となる事例が紹介されました。実技では、本年度はJR九州の協力で、本物と同じ踏切で、横断の仕方や、踏切事故が起きたときの対処法を練習しました。また、横断の判断テストをするために、自動車学校の職員の方が自転車に乗り、実際に車も運転され、どのタイミングで危険なく道を横断できるかなどを考える場を設定されて、分かりやすく指導をしていただきました。改めて、交通ルールやマナーを守らなければいけないということが再確認できた講習会となりました。

高額賠償の例では、小5の少年が乗った自転車と歩行者との衝突事故をめぐる損害賠償訴訟で、神戸地裁が少年の保護者に約9500万円という賠償を命じるというケースもありました。**ルールを守らないと事故につながる危険性が増し、被害者になるだけでなく、このように加害者にもなりえます。**事故にあつてからは取り返しがつきません。まずは、自分の命は自分で守る心がけたいものです。今後もマナーアップに向けて継続的に指導をまいります。どうか御家庭でも、お子様の**かながえのない命を守るため**ですから、今一度自転車の乗り方について一層の御指導をお願いいたします。

## 暴力団排除教室 ～暴力団犯罪から青少年を守る～

5月4月26日に全校生徒を対象に、暴力団排除教室を開催しました。福岡県警察本部から講師をお招きし、暴力団の実態や被害、近くで実際に起きた事件などについてお話をうかがいました。全国に25ある指定暴力団のうち、5つが福岡県にあり、さらにそのうち2つの指定暴力団が筑後地区にあるという現状をお話いただきました。また、事例を通して、「暴力団は決してカッコいいものではなく、入ってしまったら最後、地獄のようなものだ」と強調されました。さらに、「暴力団は映画などが美化するイメージと違い、犯罪行為をする反社会的集団であって関わったら不幸になる。ささいなことでも警察に相談して」と訴えられました。特に、近年、予想以上に私たちの身近に暴力団の恐怖・影響が及んできている現実を知らされました。また、暴力団がどのようにして金を集めるかという上納金の仕組みのこと、薬物(コカイン、大麻、覚せい剤、シンナー、MDMA)の売買のこと、女性を監禁して援助交際をさせている実態などを話されました。知らないうちに未成年者が、そうした暴力団とのつながりを持ってしまい、とりかえしのつかない大きな被害にあう構造がよく分かりました。ま



た、何度も「暴力団にとって少年、少女は絶好のターゲット」であること、暴力団はみなさんの知り合いやインターネットを通じて、みなさんに近づいてくるので「断る勇気をもつこと」の大切さを繰り返し話されました。

最後に、暴力団犯罪を避ける注意点として、**(1)新聞等で情報を集め、事件について知ること (2)日常からルールとマナーを守って生活すること、(3)声に出すこと (いざというときのため、日頃から大きな声であいさつをするなど、声を出すことを身に付けておくこと)**の三つを挙げられました。受講後の感想として、1年生のある生徒は「自分たちが知らないだけで、私たちの身の周りに沢山の暴力団組織があることを初めて知った。暴力団の怖さが分かったので、今日言われた注意点、情報を知ること、日ごろからルールを守ること、元気なあいさつをすることで声に出すことをしっかりと実行していきたい。」と話してくれました。



## ケータイマナー教室 ～安心・安全な利用について考える～

4月28日に小郡警察署の方をお招きし、全校生徒を対象にケータイマナー教室を開催しました。ネットにつながってしまえば、個人情報や世界中の人が見ることができ、また一度載せたら拡散し削除できないため、一度立ち止まって慎重に考えなければならないこと(個人情報の不用意な公開、不適切な書き込み)、特に、ネット上でのコミュニケーションは、顔が見えないため、受け止め方はそれぞれで、**自分の書き込みが思いがけず相手を傷つけることもあること、だからこそ、見直して、確認しなければいけないこと**などを、具体的な事例を通して学びました。また、中学生の多くが利用しているLINEやフェイスブックをはじめとするコミュニケーションアプリやゲームにおけるトラブルなどについても、事例を通して学びを深めました。講話では、「**自分がわからないことや困ったときには、必ず周りの大人、保護者や先生、警察に相談してください**」と何度も、生徒に訴えられました。

大原中学校生徒会宣言と共に御家庭でもぜひ話題にしていきたいと思ひます。

携帯・スマホ・SNSに関する私たちの実態！  
(アンケートより)

- ・携帯・スマホ・SNS (以下「ネット」) で人のやりとりをしたことがありますか？  
ある ⇒ 265人/386人
- ・ネットでのやりとりが気になって勉強が手につかなくなったことがありますか？  
ある ⇒ 116人/386人
- ・ネットで悪口を書かれたり嫌な思いをしたことがありますか？  
ある ⇒ 58人/386人
- ・(ネットを利用している人) ネットの使い方についてのルールを家庭で決めて守っていますか？  
守れていない ⇒ 90人/208人
- ・(ネットを利用している人) ネットの利用について、家庭でルールがあった方が良いと思いますか？  
思う ⇒ 149人/208人
- ・(ネットを1日利用期間している人) 「あとまで寝てしまっているか」の質問に対しては、学年が上がるほど長く、遅くなる傾向にある。  
3年生の平均(何時間まで?) 1:25(何時間?) 14.5時間
- ・ネットが学習などの助けになり、困っている人がいる。
- ・ネットを利用している人たちの会話に入らず、嫌な思いをしたり、友人関係が悪くなった人たちがいる。

このままでは!?

- ・『ながらスマホ』や『個人情報の流出』等のマナー違反が増え、周囲に悪影響を及ぼしてしまふ。
- ・社会にあふれる多くのトラブル等に巻き込まれ、危険な思いをする可能性がある。
- ・学習を第一に考えるべき時間に、ネットのことが気になり、私たちの大切な進路実現の妨げになる。
- ・ネット上でのコミュニケーションが増え、「ことば」やふれ合いによる真の繋がりが希薄になる。
- ・『個人情報の流出』や『ことばの使い方』が悪くなることで、**私たちの履かぬ結びつきが切られる恐れがある。**

だから!!

平日日|時間以上の使用と夜10時以降のやりとりはしません!

名前や写真、人を傷つける内容は勝手にネット上に掲載しません!

全ての人と暖かく絡むために「ことば」を大切に扱います!

家族や友達と協力して、私たちが自身のためにこの宣言を守ります!

大原中学校ケータイマナー教室